

まちかど・ズーム IN!

プロの大工さんがアドバイス

親子木工教室

白石市建設職組合青年部主催の親子木工教室が8月4日、中央公民館で開かれました。

参加した約120組の親子は、プロの大工さんのアドバイスを受けながら、本立てやいす、そして郵便局のコンテスト用の貯金箱作りなどに挑戦しました。

寸法どりから色づけまで、慣れない大工道具に苦戦ぎみの皆さんでしたが、親子で一緒に作る楽しみを満喫していました。



お兄ちゃんが「治して」くれたよ

「おもちゃの病院」開院

白石工業高校機械部の生徒たちが、7月25日と27日、いきいきプラザに「おもちゃの病院」を開設しました。



病院には、電車やミニカーなどのおもちゃが持ち込まれ、生徒たちは、テスターで「検査」して、はんだごてなどで「治療」を行いました。

「元気」になったおもちゃの「カルテ」には、「だいじに使ってね」といったメッセージが書き込まれ、子どもたちに、ものを大切にする心を植え付けていました。

身近な川で体験学習

めだかの学校



7月28日、「めだかの学校」が白石川緑地公園で開校され、約2,500人の子どもたちや親たちが参加した大イベントとなりました。

自分で捕まえたニジマスのはらわたの取り方や焼き方を学ぶ「野外料理指南」、ゴムチューブのいかだで川を下り、流れの強弱や深さによる色の違いなどを学ぶ「冒険川下り」、そして、河原の石に色を塗り、魚や花などの作品をつくる「ストーンアート」など、参加者は身近な川で多彩な体験学習をしていました。

大盛況のイベントとなりました

「アテネまつり」

市情報センター「アテネ」開館4周年を記念して、7月19日から21日までの3日間、「アテネまつり」が同センターで開かれました。

パソコンによる子どもお絵かき大会や名刺づくりコーナー、そして今話題のホットスポット（インターネットへの接続が手軽にできる無線接続）体験会などのコーナーが設けられ、大勢の市民でにぎわいました。

また、パソコン相談のコーナーには、高齢者の方からの相談が多く寄せられ、情報通信などに対する関心の高さをうかがわせました。



「世界に一冊」の絵本ができました

手づくり絵本講習会



7月26日と8月2日の2日間、図書館で手づくり絵本講習会が開かれ、幼稚園児から一般の方までの20人が参加しました。

参加者は、「ぼうけんものがたり」や「みんなのこうえん」など、自分や家族で考えた思い思いの筋立ての絵本を、中身作りや製本、表紙作りなど、すべて手づくりで完成させました。

出来上がった絵本は、秋に図書館に展示される予定です。

「みやぎ・ふくしま」県境作戦



夏の交通事故防止

交通事故に気をつけて、安全な県境越えをと、7月22日、白石地区と福島県桑折地区の交通安全協会などが共同で、国道4号斎川パーキングで、「みやぎ・ふくしま県境作戦」と銘打って交通事故防止のキャンペーンを行いました。

両地区の協会関係者や甲冑工房片倉塾の皆さんなど、参加した約120名が、県境作戦ならではの「通行手形」や福島特産の桃などをパーキング内に誘導した車両に配り、交通安全を呼びかけました。